



### REPORT

2017.2.19 Apios

## 文化協会10周年記念 文化講演会 &落語鑑賞会

小美玉市文化協会10周年を記念して、文化講演会&落語鑑賞会が行われました。文化講演会は、市ではおなじみともいわれるくらい様々なかわりを持ってくださっている、長谷川幸介先生の茨城・小美玉の文化を紡ぐお話でした。いつもの語り口で会場を和ませ、茨城・小美玉の文化のルーツを探る話はレジメと違ってとても楽しく納得のお話でした。午後は桂夏丸さんの落語、テレビで見るより高い高座にびっくり。殿様出世物語に300人の観客は引き込まれて聞いていました。お昼のそば打ち同好会の手打ちそばには長い行列ができましたが、おいしくいただきました。<みのんば編集局 福島 ヤヨヒ>

アピオス小ホールにおいて2月24・25・26日沢山の方にご来場いただきありがとうございました。織り布で作った、さるぼぼのプレゼントも460人に手渡すことができ、また3台のはたおり機にて79名の方に体験織りをしていただき、ありがとうございました。共同作品のタペストリー(山紫水明)・反物・着物などを展示できたこと、またご来場いただいた皆様のキラキラ輝く笑顔が会場いっぱいにあふれたこと、うれしい・幸福の気持ちでいっぱいです。展示にあたり協力してくださった皆さん感謝・感謝です。<はたおりかけおの会 大貫 春恵>

### REPORT

2017.2.24~26 Apios

## はたおり かけおの会 20周年記念



### REPORT

2017.3.4 Cosmos

## 映画「あん」 小美玉上映会

3月4日(土)生涯学習センターコスモス文化ホールにて、コスモスプロジェクト主催の映画「あん」の上映会が午前、午後の2回、たくさんの来場者のなか行われました。樹木希林主演の元ハンセン病患者の老女が、尊厳を失わず生きようとする姿を丁寧に描いた作品です。「字幕付きの上映だったので、素敵な台詞が伝わりやすくてよかった」「役者さんたちの演技が素晴らしかった。人の役に立つ事や、生きる意味についてとても考えさせられました」「悲しい話でしたが、最後は温かい気持ちになりました。いい映画でした」と来場者は感想を話してくれました。<みのんば編集局 加藤 篤子>

<みのんば編集局 加藤 篤子>

2017年4月8日(土)は  
四季の里&みの~れで

## 小美玉 さくらフェスティバル2017

テーマ「みの~れGO! ~宙のかなたへ~」ですが

ひと足はやくホールは

# 満開!

### REPORT

2017.3.4 Minole

OMT-JAPAN  
エンターテイメントショー  
お昼が過ぎたら  
GO! GO!! GO!!!  
おかげ様で大繁盛  
すぺしゃる!



### REPORT

2017.2.25 Apios

## 小美玉市学校アクティビティ事業集大成コンサート 結×結 ~津軽三味線あんみ通コンサート~

市学校アクティビティ事業集大成コンサート「あんみ通 結×結コンサート」が開催され、小学生から大人まで津軽三味線の音色や民謡の歌声を楽しみました。「青森の本場の津軽三味線が聴きたくて2年前に妻と旅行した、あの時の感動をもう一度味わいたくて、今回あんみ通さんのコンサートに来ました。目を閉じると津軽平野の殺風景な景色と、乾いた音が浮かび感動しました」とかすみがうら市の山中忠和さん。「アピオスでの初めてのコンサートは、ステージ上に客席を作っていただき気持ちよく演奏することができました。和楽器を見て触れる機会を増やしてください」と素敵な笑顔のあんみ通さんは、お客様に語りかけました。<みのんば編集局 藤田 佐知子>

<みのんば編集局 藤田 佐知子>



林 修  
講演会

やりたい事と  
できる事

「この会場でのお客様の層をみて、60代~70代の女性向けに話しましょう」と林先生は始まりました。「私的に『にげり世代』。戦争中生まれていても乳幼児だったからその苦勞は知らず、国名がずっと変わらないこの平和な日本にいて、高度成長で仕事があまっていた。そして年金は回収していく、医療は充実している世代。なおかつ、女性はグループを作るのが得意だから、元気どこへでも遊びに行っている現在。世代格差がありすぎる。昭和24年に269万人いた出生数が去年は98万人とこれからの日本が心配。子ども世代、孫世代のためにできることを考えていってほしい」と、800名を越す来場者は、たくさん笑いもした後、『なるほど』と聴き入る講演となりました。<みのんば編集局 野手 利江>

<みのんば編集局 野手 利江>

### REPORT

2017.2.26 Apios

## 林修講演会



エンターテイメント集団『OMT-JAPAN』は2012年度に結成され、市内の地区公民館やお祭りに出向いて公演を行っています。単独公演としては3回目となります。大喜利、マジック、ジャグリングなどメンバーの得意分野を活かしてパフォーマンスを披露します。メンバーが演じた『OMT喜劇~てっちゃん食堂~』では笑いあり、ホロっとするところありでした。「お客様に楽しんでもらう」という気持ちが伝わった公演となりました。これからもOMT-JAPANは市内各地に出向いて、楽しいショータイムを届けてくれるでしょう。<みのんば編集局 酒井 和美>

<みのんば編集局 酒井 和美>

OMT-JAPANが  
あなたの地区へ!  
お問い合わせは みのんばまで!

笑い  
と  
感動を  
お届け!